

令和2年度における施策
の成果並びに予算執行の
実績に関する説明書

(決算附属資料)

1 決算の概要

令和2年度一般会計歳入歳出決算については、歳入総額 2,317,963,558 円、歳出総額 2,288,104,526 円で、歳入歳出差引額 29,859,032 円となりました。

平成30年度～令和2年度決算の推移

(単位：千円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	前年度比較(R2-R1)	
				増減額	増減率
歳入	1,879,238	2,015,358	2,317,963	302,605	15.0%
歳出	1,856,243	1,977,100	2,288,104	311,004	15.7%
歳入歳出差引額	22,995	38,258	29,859	△ 8,399	△22.0%

実質収支は、翌年度へ繰り越すべき財源はないため、歳入歳出差引額と同額となっており、実質収支から前年度実質収支を差し引いた単年度収支は、△8,399 千円となりました。また、前年度繰越額は 38,258 千円で、824 千円を財政調整基金に積立てました。

この結果、実質収支から前年度実質収支を差し引いた単年度収支は、前年度と比較して 20,228 千円減少し、7,575 千円の赤字となりました。

平成30年度～令和2年度決算収支の状況

(単位：千円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
1 歳入総額	1,879,238	2,015,358	2,317,963
2 歳出総額	1,856,243	1,977,100	2,288,104
3 歳入歳出差引額 (1-2)	22,995	38,258	29,859
4 翌年度へ繰り越す べき財源額	0	0	0
5 実質収支額 (3-4)	22,995	38,258	29,859
6 単年度収支 (5-前年度分5)	△ 13,319	15,263	△ 8,399
7 財政調整基金積立金	19,100	12,600	824
8 財政調整基金取崩額	0	0	0
9 実質単年度収支 (6+7-8)	5,781	27,863	△ 7,575

2 歳入

収入済額を前年度と比較すると、302,605千円（15.0%）の増加となりました。由良庁舎建築に係る消防施設整備事業に伴う組合債の増加が主な要因となっています。

平成30年度～令和2年度歳入の推移

（単位：千円）

	平成30年度		令和元年度		令和2年度		前年度比較(R2-R1)	
	収入済額	構成比	収入済額	構成比	収入済額	構成比	増減額	増減率
分 担 金 及 び 使 用 料 及 び 手 数 料	1,737,939	92.5%	1,840,851	91.3%	1,856,703	80.1%	15,852	0.9%
国 庫 支 出 金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	-
財 産 収 入	1,483	0.1%	1,605	0.1%	4,276	0.2%	2,671	166.4%
繰 入 金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	-
繰 越 金	36,314	1.9%	22,995	1.1%	38,258	1.6%	15,263	66.4%
諸 収 入	26,162	1.4%	20,929	1.0%	13,881	0.6%	△ 7,048	△33.7%
組 合 債	75,300	4.0%	128,000	6.4%	403,100	17.4%	275,100	214.9%
寄 附 金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	-
合 計	1,879,238	100%	2,015,358	100%	2,317,963	100%	302,605	15.0%

(1) 款別決算状況

1 款 分担金及び負担金

歳入	科目（項・目）	予算現額（千円）	収入済額（千円）	頁
	1. 分担金 1. 事務組合分担金	1,855,426	1,855,426	5,6

※「頁」は決算書（事項別明細書）のページを示しています。（以下同じ）

前年度と比較すると 15,762 千円増となりました。

均等割 33% 人口割 67% ※淡路広域消防事務組合規約による

洲本市 611,134 千円（32.94%） 別途、由良出張所建設用地ガラ処理費 200 千円を負担

南あわじ市 635,543 千円（34.26%）

淡路市 608,549 千円（32.80%）

歳入	科目（項・目）	予算現額（千円）	収入済額（千円）	頁
	2. 負担金 1. 緊急通報センター負担金	1,000	1,000	5, 6
	2. 負担金 2. 移譲事務負担金	277	277	

緊急通報装置は、指令センターで運用管理しており、高齢の独居者を対象とした緊急通報システムで、淡路広域行政事務組合から事務を受託しています。前年度から増減はありません。

移譲事務は、高圧ガス、液化石油ガス及び火薬類の保安に係る事務を構成3市から受託しています。前年度から90千円増となっています。

洲本市 108千円 南あわじ市 47千円 淡路市 122千円

2款 使用料及び手数料

歳入	科目（項・目）	予算現額（千円）	収入済額（千円）	頁
	1. 手数料 1. 手数料	1,900	1,639	5, 6
	2. 使用料 2. 使用料	105	106	

危険物申請手数料、り災証明手数料及び行政財産使用料による収入で、危険物に係る申請件数が大きく増加（48件→72件）したため前年度から767千円増加しました。

3款 財産収入

歳入	科目（項・目）	予算現額（千円）	収入済額（千円）	頁
	1. 財産運用収入 1. 利子及び配当金	824	825	7, 8

財政調整基金利子による収入で、前年度から225千円減となりました。

歳入	科目（項・目）	予算現額（千円）	収入済額（千円）	頁
	2. 財産売払収入 1. 物品売払収入	3,763	3,451	7, 8

消防車更新事業に伴い、不要となった消防車等の売払収入で、前年度から2,896千円増となりました。

4款 繰越金

前年度繰越金38,258千円、前年度と比較すると、15,263千円増となりました。

5 款 諸収入

歳入	科目(項・目)	予算現額(千円)	収入済額(千円)	頁
	1. 雑入	1. 救急支弁金	11,172	11,172

神戸淡路鳴門自動車道における救急業務に関する支弁金で、1,794千円増となりました。

歳入	科目(項・目)	予算現額(千円)	収入済額(千円)	頁
	1. 雑入	2. 雑入	3,973	2,709

前年度から8,842千円減となりました。

○主な内容と収入済額

職員健康診断助成金	782千円
保険事務取扱手数料	881千円
共済保険金	973千円

6 款 組合債

歳入	科目(項・目)	予算現額(千円)	収入済額(千円)	頁
	1. 事務組合債	1. 消防債	408,000	403,100

前年度と比較し275,100千円増となりました。

○内訳

洲本消防署屈折はしご車更新事業	事業費	139,700千円	起債額	139,700千円
津名一宮分署救急自動車更新事業	事業費	31,900千円	起債額	31,900千円
指令センター機器更新事業	事業費	24,552千円	起債額	18,400千円
由良庁舎建設事業	事業費	213,100千円	起債額	213,100千円

3 歳出

支出済額を前年度と比較すると、311,004千円増(15.7%)となりました。由良庁舎建設事業の増が主な要因となっています。

平成30年度～令和2年度歳出の推移

(単位：千円)

	平成30年度		令和元年度		令和2年度		前年度比較(R2-R1)	
	支出済額	構成比	支出済額	構成比	支出済額	構成比	増減額	増減率
議 会 費	196	0.0%	213	0.0%	206	0.0%	△ 7	△3.3%
総 務 費	86,886	4.7%	79,305	4.0%	1,106	0.0%	△ 78,199	△98.6%
消 防 費	1,548,999	83.4%	1,647,082	83.3%	1,976,538	86.4%	329,456	20.0%
公 債 費	220,162	11.9%	250,500	12.7%	310,254	13.6%	59,754	23.9%
予 備 費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合 計	1,856,243	100%	1,977,100	100%	2,288,104	100%	311,004	15.7%

(1) 科目別決算状況

1 款 議会費

歳	科目(項・目)	予算現額(千円)	支出済額(千円)	頁
出	1. 議会費 1. 議会費	212	206	11, 12

令和2年度において、定例会2回、臨時会3回の計5回を開催しました。

2 款 総務費

歳	科目(項・目)	予算現額(千円)	支出済額(千円)	頁
出	1. 総務管理費 1. 一般管理費	195	140	11, 12

一般管理費は、前年度まで構成3市からの派遣職員人件費のほか、組合全般に係る人事・給与、財務・会計などの管理事務に要する経費、情報セキュリティ対策等に要する経費、庁舎維持管理に要する経費、職員の衛生並びに制服及び諸貸与品に要する経費等を支出していましたが、3款消防費・常備消防費へ振替、特別職報酬を支出しています。

前年度から66,414千円減となりました。

歳出	科目（項・目）	予算現額（千円）	支出済額（千円）	頁
	1. 総務管理費 2. 財政調整基金費	824	824	11, 12

組合財政の健全な運営に資するため財政調整基金を積み立てました。

歳出	科目（項・目）	予算現額（千円）	支出済額（千円）	頁
	2. 監査委員費 1. 監査委員費	158	142	11, 12

監査委員費は、監査等実施に要する経費として、監査委員の報酬等を支出しており、前年度から9千円減となりました。

- ・令和2年5月11日 現金出納検査
- ・令和2年7月8日 現金出納検査、決算審査
- ・令和2年10月29日 現金出納検査、定期監査

3款 消防費

歳出	科目（項・目）	予算現額（千円）	支出済額（千円）	頁
	1. 消防費 1. 常備消防費	1, 588, 613	1, 558, 989	13～18

常備消防費は、消防職員に係る人件費、研修費、旅費、消防車両及び機材の点検整備費用、通信指令システムに係る通信費及び保守管理費用、火災・救急・救助活動に必要な備品等の経費を支出しており、2款総務費・総務管理費から振替を行ったため前年度から63,918千円増となっています。

○主な内容と支出済額

- ・人件費（給料、職員手当等、共済費） 1, 400, 640 千円
- ・需用費（消耗品費、燃料費、修繕料、光熱水費等） 58, 087 千円
- ・役務費（自動車損害保険料、通信費等） 18, 077 千円
- ・委託料（指令システム保守・機器更新、機材維持管理等） 20, 011 千円
- ・使用料及び賃借料（通信回線利用料等） 11, 352 千円
- ・備品購入費（指令・予防・警防・救急・救助） 9, 162 千円
- ・負担金（消防学校・救命士養成等研修負担金） 34, 761 千円

【警防関係】

令和2年中の火災件数は87件で、前年に比べ6件減少、市別の内訳は、洲本市24件、南あわじ市24件、淡路市39件となっており、火災種別では、その

火災件数	平成30年	令和元年	令和2年
洲本市	36件	36件	24件
南あわじ市	31件	24件	24件
淡路市	66件	33件	39件
計	133件	93件	87件

他の火災が50件で全体の57.5%を占め、次いで建物火災が27件で31.0%となっています。これらの火災により、45棟が焼損、2名が死亡し、8名が負傷しました。

救急発生件数は5,520件で、前年に比べ1014件減少、市別の内訳は、洲本市1,830件、南あわじ市1,718件、淡路市1,971件であり、事故種別では、急病が3,201件で全体の

救急件数	平成30年	令和元年	令和2年
洲本市	2,252件	2,142件	1,830件
南あわじ市	2,109件	2,035件	1,718件
淡路市	2,484件	2,351件	1,971件
その他	6件	6件	1件
計	6,851件	6,534件	5,520件

58.0%を占め、次いで一般負傷が965件で17.5%となっています。

救助発生件数は105件で、前年に比べ42件減少、市別の内訳は、洲本市37件、南あわじ市34件、淡路市34件であり、事故種別では、その他の事故が34件で全体の32.4%を占

救助件数	平成30年	令和元年	令和2年
洲本市	44件	54件	37件
南あわじ市	57件	50件	34件
淡路市	46件	42件	34件
その他	2件	1件	0件
計	149件	147件	105件

め、次いで交通事故が26件で24.8%となっています。

その他の災害（救急支援、調査・警戒等を総称してその他の災害としています。）の

その他出動 件数	平成30年	令和元年	令和2年
	371件	386件	362件

発生件数は362件で、前年に比べ24件減少、災害種別では、救急支援が163件で全体の45.0%を占め、次いで調査・警戒が120件で33.1%となっています。

【通信関係】

119番受信件数は前年と比べ1,116件減少し、8,064件となりました。通報種別では、救急が4,875件で全体の60.7%を占め、次いで病院紹介が465件で5.8%のほか、323件の通報訓練を行いました。

119番受信 件数	平成30年	令和元年	令和2年
	9,710件	9,180件	8,064件

【予防関係】

火災の発生並びに被害を軽減するには、火災予防が何よりも大切です。

今年度は、住宅火災が発生した地域に対して個別訪問を行い住宅防火を呼びかけたほか、規制業務として不特定多数の人が使用する防火対象物及びガソリンスタンドの立入検査を実施、消防法令違反の是正に重点をおき取り組みました。

また、防火管理者講習会を開催し、防火管理義務対象物において防火管理上必要な業務を適切に遂行してもらえよう、座学に実技訓練を加えた講習会を実施しました。



歳出	科目(項・目)	予算現額(千円)	支出済額(千円)	頁
	1. 消防費 2. 消防施設整備費	409,700	404,854	19,20

消防施設整備費は、庁舎管理に係る工事費、車両整備事業に要した費用を支出しています。前年度と比較すると254,726千円増となっています。

今年度、庁舎関係では、消防整備基本計画に基づき由良出張所建設工事を実施しました。車両整備においては、洲本消防署はしご車及び津名一宮分署救急自動車を更新しました。

○主な内容と支出済額

由良出張所建設工事費	213,100千円
洲本消防署配備屈折はしご付消防自動車購入費	139,700千円
津名一宮分署車配備救急自動車購入費	31,900千円
指令センター機器更新業務委託料	24,552千円

・ 屈折はしご付消防自動車（洲本消防署）



・ 救急自動車（津名一宮分署）



・ 由良出張所



歳出	科目（項・目）	予算現額（千円）	支出済額（千円）	頁
	1. 消防費 3. 新型コロナウイルス感染症対策費	12,700	12,695	19,20

新型コロナウイルス感染症対策費は、新型コロナウイルス感染症に対応するための救急用消耗品、資機材購入費用を支出しています。

○内容と支出済額

- ・ 救急用消耗品費（感染防止衣・N95 マスク等） 6,683 千円
- ・ 救急用資機材購入費（オゾンガス発生装置等） 4,860 千円

4款 公債費

歳出	科目(項・目)	予算現額(千円)	支出済額(千円)	頁
	1. 公債費 1. 元金		303,729	303,728
1. 公債費 2. 利子		6,527	6,526	

平成30年度に借り入れた由良出張所配備救急車及び西淡出張所配備ポンプ車の車両更新事業の元金償還開始や繰上償還などにより、前年度から59,754千円増となりました。

公債費の状況

借入年度	事業名	借入額	償還金		未償還残高	利率	償還終期 年月日
			当年度償還金	償還金累計			
		円	円	円	円	%	
平成24年度	消防救急デジタル無線実施設計	1,500,000	188,619	1,120,493	379,507	0.40	R5.3.20
平成25年度	岩屋ポンプ車 津名ポンプ車	51,300,000	8,550,000	51,300,000	0	0.20	R3.3.31
平成25年度	消防救急デジタル無線	144,300,000	64,128,000	144,300,000	0	0.60	R3.3.31 繰上
平成25年度	高機能消防指令センター	73,400,000	20,968,000	73,400,000	0	0.58	R3.3.31 繰上
平成25年度	新庁舎建設工事	46,200,000	3,264,296	19,247,964	26,952,036	0.70	R11.3.20
平成26年度	衛星通信ネットワーク施設 高機能消防指令センター	190,900,000	27,270,000	136,360,000	54,540,000	0.46	R5.3.31
平成26年度	新庁舎建設工事	9,500,000	670,017	3,316,874	6,183,126	0.50	R12.3.20
平成26年度	消防救急デジタル無線	341,400,000	37,932,000	189,672,000	151,728,000	0.53	R7.3.31
平成26年度	新庁舎建設工事	619,400,000	44,200,000	221,600,000	397,800,000	0.78	R12.3.31
平成27年度	洲本ポンプ車・五色救急車	26,900,000	4,482,000	17,936,000	8,964,000	0.10	R5.3.31
平成27年度	新庁舎建設工事	302,200,000	33,576,000	134,320,000	167,880,000	0.35	R8.3.31
平成28年度	西淡救急車	12,100,000	2,016,000	6,052,000	6,048,000	0.01	R6.3.31
平成28年度	洲本化学自動車	46,500,000	7,750,000	23,250,000	23,250,000	0.01	R6.3.31
平成29年度	洲本救助工作車・岩屋救急車	144,700,000	36,173,191	72,342,765	72,357,235	0.01	R5.3.20
平成30年度	由良救急車	27,700,000	4,620,000	4,620,000	23,080,000	0.01	R6.3.31
平成30年度	西淡ポンプ車・資機材搬送車	47,600,000	7,940,000	7,940,000	39,660,000	0.01	R6.3.31
令和元年度	北淡救急車・北淡ポンプ車	72,000,000	0	0	72,000,000	0.19	R7.3.31
令和元年度	指令機器更新・由良庁舎設計	56,000,000	0	0	56,000,000	0.16	R9.3.31
令和2年度	洲本梯子車	139,700,000	0	0	139,700,000	0.19	R7.3.31
令和2年度	津名救急車	31,900,000	0	0	31,900,000	0.189	R8.3.20
令和2年度	指令機器更新業務	18,400,000	0	0	18,400,000	0.227	R10.3.20
令和2年度	由良庁舎建設	213,100,000	0	0	213,100,000	0.40	R23.3.20
計		2,616,700,000	303,728,123	1,106,778,096	1,509,921,904		

(2) 性質別決算状況

平成30年度～令和2年度性質別経費の状況

(単位：千円)

	平成30年度		令和元年度		令和2年度		前年度比較(R2-R1)	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
人件費	1,340,428	72.2%	1,372,675	69.4%	1,372,892	60.0%	217	0.0%
物件費	126,800	6.8%	131,474	6.7%	124,919	5.5%	△ 6,555	△5.0%
維持補修費	1,586	0.1%	1,545	0.1%	2,747	0.1%	1,202	77.8%
補助費等	37,555	2.0%	37,444	1.9%	37,525	1.6%	81	0.2%
扶助費	21,545	1.2%	21,790	1.1%	23,100	1.0%	1,310	6.0%
公債費	220,162	11.9%	250,500	12.7%	310,254	13.6%	59,754	23.9%
普通建設事業費	89,067	4.8%	149,072	7.5%	415,843	18.2%	266,771	179.0%
積立金	19,100	1.0%	12,600	0.6%	824	0.0%	△ 11,776	△93.5%
合計	1,856,243	100.0%	1,977,100	100.0%	2,288,104	100.0%	311,004	15.7%

人件費は歳出全体の60.0%を占め1,372,892千円、勤勉手当の支給割合引下げがあったが消防職員4名増により前年度から217千円増となりました。

物件費は124,919千円、前年度と比較して6,555千円減となりました。

維持補修費は各署所庁舎補修に要した費用で前年度より1,202千円増となりました。

補助費等37,525千円のうち、72.5%(27,232千円)が関係市から当組合への派遣職員の人件費負担金となっています。

公債費は、前年度から59,754千円増(23.9%)の310,254千円となっています。

普通建設事業費は、前年度から266,771千円増の415,843千円となっています。指令システムの大規模な機器更新及び由良庁舎建設事業を実施したため大きく増えています。

積立金は824千円で、前年度と比較して11,776千円減(△93.5%)となりました。

※令和2年度末財政調整基金高330,706千円

以上